



福利厚生・健康支援企業が実践する “働きがい”あるオフィスデザイン

福利厚生／健康支援サービスを提供するイーウェルが考える、企業の“あるべき姿”を自ら体現するオペレーションセンター



ゆっくりくつろげるリフレッシュルーム。一人で休憩したり、みんなで談笑したり、自由に過ごせる



ゆとりあるロッカールームには、靴を脱いだり荷物を置けるベンチシートを備える



陽当たりのよいテラスでランチをとったり、前庭の芝生では軽い運動もできる。バスケットコートで汗を流すスタッフも



センタープロフィール

- センター名称：イーウェル 米子オペレーションセンター
- 所在地：鳥取県米子市上福原1383-4
- 延床面積：約3,000㎡
- 設備構成：オペレーションエリア×3、研修ルーム×4、会議室×4、面談ルーム×2、リフレッシュベース×1、救護室×2、ロッカールーム×1、応接室×1、管理スタッフ室×1、駐車場300台、駐輪場50台、自家発電装置
- ブース数：約420席
- 業種・業態：福利厚生・健康支援サービス事業
- 運用開始時期：2015年4月

受賞コメント

当社は働く人々の健康支援や福利厚生サービスを提供している会社です。オペレーションフレッドである「お客様の笑顔を実現する」ため、私たちも笑顔でありたい。スタッフそれぞれの価値観を尊重し、働く理由をサポートする。その要素の1つがオフィス環境だと考えます。この度の受賞は光栄であると同時に大変励みになります。有難うございました。

講評

福利厚生／健康支援サービスなどを提供する事業特性を踏まえ、その「在りたい姿」を自社施設で実現している。地域特性を考慮した自家用車通勤への対応や、広い芝生スペースの設定など、働きやすい執務環境の構築に加え、リフレッシュ・アメニティ施設の充実が特徴的。執務家具選定にも女性の声を取り入れるなど、細部にわたる従業員への配慮を評価。



コーポレートカラーのブルーを基調としたエントランスと、開放感のあるロビー



オペレーションルームは、2フロア合計で420席。部屋ごとにカラーを変えた会議室のほか、他拠点とミーティングできるテレビ会議室も備える



無停電電源装置・自家発電機で有事の際も安心。太陽光発電、LED照明の利用など、自然環境にも配慮している。屋上緑化による暑さ対策も実践中

